

公益社団法人日本地震工学会 第23回理事会議事録

A. 日時：2016年8月9日（火） 17時00分～20時00分

B. 場所：建築会館 304会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎，（副会長）木全宏之，中埜良昭

（担当理事）吉見雅行，田中宏司，原田健二，長島一郎，大堀道広，

入江さやか，山口 亮，中村いずみ，高橋郁夫，甲斐芳郎，秋山充良，

中村友紀子，宮腰淳一，

（監事）中村 晋

欠席：（副会長）倉本 洋（担当理事）室野剛隆，楠 浩一（監事）勝俣英雄

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局員

D. 議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1) 第22回理事会議事録（案）確認（田中理事） | 資料 23-01 |
| 2) 会務報告（吉見理事） | 資料 23-02 |
| 3) 会計報告（原田理事・長島理事） | 資料 23-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料なし |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村いずみ理事・山口理事） | 資料 23-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事） | 資料 23-06 |
| 7) 大会実行委員会からの報告（甲斐理事） | 資料 23-07 |
| 8) 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長） | 資料 23-08 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事） | 資料 23-09 |
| 10) 事業企画委員会からの報告（中村（友）理事・宮腰理事） | 資料 23-10 |
| 11) 選挙管理委員会からの報告（長島理事） | 資料 23-11 |

議案

- | | |
|----------------------|----------|
| 第1号 入退会者（原田理事） | 資料 23-12 |
| 第2号 共催・後援・協賛等（田中理事） | 資料 23-14 |
| 第3号 規程類の改定について（吉見理事） | 資料 23-15 |

懇談事項

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| 1) 地震学会との会長懇談会の報告（目黒会長） | 資料 23-16 |
| 2) 地震学会との共催シンポジウムについて（吉見理事） | 資料 23-17 |
| 3) 出前講座 実施報告（室野理事） | 資料 23-18 |
| 4) 2017年地震工学会大会の開催時期・会場について（秋山理事） | 資料 23-19 |
| 5) 「防災学術連携体 防災連携委員会」について（目黒会長） | 資料なし |
| 6) 「地質地盤情報の活用と法整備を考える会」について（秋山理事） | 資料 23-21 |

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 7) 役員選挙における推薦人の記載について（長島理事） | 資料 23-22 |
| 8) 会長特別委員会からの報告（目黒会長） | 資料 23-23 |
| 9) 熊本地震への対応（吉見理事） | 資料 23-24 |
| 10) 次年度総会の日程について（吉見理事） | 資料 23-25 |

理事 19 名中 16 名の出席があり、理事会の成立が確認された。

E1. 報告事項：

- 1) 第 22 回理事会議事録（案）確認（田中理事）
資料 23-01 を基に田中理事より第 22 回理事会の議事録が説明され、異議なく承認された。
- 2) 会務報告（吉見理事）
吉見理事より資料 22-02 を基に会務報告がなされ、以下の修正を加えることで承認された。
 - ・ 6 月 24 日 避難の研究委員会の第 1 回委員会開催
 - ・ 7 月 29 日 日本政府観光局（JNTO）との打ち合わせ
 - ・ 7 月 13（水）の第 3 回会誌編集委員会の開催日を 7/14（木）に修正
- 3) 会計報告（原田理事・長島理事）
原田理事・長島理事より資料 22-03 を基に今年度の会計報告が行われた。資料 23-03-2 について今回から新たな様式として平成 28 年度事業計画の予算と実績を対応させた表が追加された。次回以降も継続して作成することが確認された。
- 4) 広報部会からの報告（入江理事）
入江理事より広報部会の取組みについて報告が行われた。高知家（高知県内のメディア・大学・行政が連携する自主防災組織）の事務局長（高知地方気象台荒谷台長）にコンタクトをとり、大会の広報・周知・取材協力等について協力依頼を行った。広報部会として学会の活動をどの様に表に出していけばよいか、関係理事・委員会メンバーと具体的な方針を示していく予定。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村いずみ理事・山口理事）
中村いずみ理事・山口理事より資料 23-05 を基に情報コミュニケーション委員会からの報告が行われた。メールニュース巻頭言の執筆依頼について、H28 年度第 1 回委員会の開催について、JAEE News の発行について、JAEE のウェブサイトのメンテナンスについて、JAEE Newsletter 第 15 号の作成内容について報告された。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事）
高橋理事より資料 23-06 を基に会誌編集委員会の活動報告が行われた。日本地震学会会誌 No. 29（10 月末発行）について熊本地震に関する特集号の内容が確定し、執筆依頼が完了したことについて説明された。学会ニュース「防災力の強化を目指す防災学術連携体と日本学術会議」を目黒会長

が執筆していただくことで了解をいただいた。

7) 大会実行委員会からの報告（甲斐理事）

甲斐理事より資料 23-07 を基に大会実行委員会の活動報告が行われた。大会プログラムの作成中であり、各セッションに各分野の方が参加できるように検討を進めている。現在の投稿数から収支の確度をあげるように検討中である。優秀発表賞の審査を大会に参加する理事が担当するように依頼がされた。見学会のスケジュールおよび交流会について内容の説明がなされた。表彰対象者は規定通り満 35 歳以下とすることが確認された。講演プログラムは理事会の承認事項のため、決定次第メール審議を行うことが確認された。

8) 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長）

中埜副会長より資料 23-07 を基に 17WCEE 招致活動について報告が行なわれた。各国のナショナルデリゲートに対する誘致活動、仙台市との調整状況、16WCEE でジャパンナイトを開催すること（総理や仙台市長からのメッセージを依頼中）について紹介された。開催決定後は開催委員会などの立ち上げが必要となることが確認された。8 月末の JAEF Newsletter などで広報していくことが確認された。

9) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事）

大堀理事より資料 23-08 を基に論文集編集委員会の活動報告が行われた。特集号の問題と課題への対応について、投稿料と査読料の改定に向けた分析を行うこと、投稿用フォーマットの変更を検討していくこと、論文集へのアクセス情報の開示方法について報告された。

10) 事業企画委員会からの報告（中村友紀子理事・宮腰理事）

中村友紀子理事・宮腰理事より資料 23-10 を基に事業企画委員会の活動報告が行われた。第 1 回事業企画委員会の実施状況、第 2 回メディア交流会の開催状況について報告された。広報委員会と連携して、メディアへの周知を行っていくことが確認された。前理事の澤田純男会員に事業企画委員会のオブザーバとして参加していただくことが確認された。

11) 選挙管理委員会からの報告（長島理事）

長島理事より資料 23-11 を基に次期会長候補、監事候補の投票について報告が行われた。

E2. 議案：

第 1 号 入退会者（原田理事）

資料 23-12 を基に原田理事より正会員 15 名、学生会員 28 名の入会希望者の報告があり、異議なく承認された。退会者と会員数について報告が行われた。

第 2 号 共催・後援・協賛等（田中理事）

田中理事より資料 22-22 を基に下記の後援 3 件、協賛 1 件の名義使用依頼について説明があり、

異議なく承認された。行事開催日直前の案件について直前の承認で問題がないかとの質問があり、継続行事・負担金が無く主催者が確かな行事については、事務局から承諾の回答を行ってきたことが報告され、この方針で問題ないことが確認された。判断に迷うような内容で早急な判断が必要な行事については、メール審議を行うことも確認された。

第3号 規程類の改定について（吉見理事）

吉見理事より資料 23-15 を基に規則・規定類の改定について説明が行われ、改定内容について異議なく承認された。8月9日を改定日として公開することが承認された。

E3. 懇談事項：

1) 地震学会との会長懇談会の報告（目黒会長）

目黒会長より資料 23-16 を基に地震学会との会長懇談会の内容が紹介され、双方の連携について活発な意見交換がなされたことが報告された。

2) 地震学会との共催シンポジウムについて（吉見理事）

吉見理事より資料 23-17 を基に昭和南海地震 70 周年シンポジウムについて説明が行われた。高知大学の先生と自治体の防災担当の方にパネルディスカッションに参加していただくこととなった。休憩時間に大会の優秀発表者の表彰式を行うこととし、講演を各 30 分で質疑をなしとすることで時間調整することとなった。甲斐理事より追加説明があり、特別講演をビデオ撮りして市民が視聴できるようにすること、ポスター展示も市民に開放することが報告され、参加者にはプログラムの公開時に周知することを前提に了承された。また、高知工科大学に後援依頼を行うことについて、異議なく了承された。

3) 出前講座実施報（吉見理事）

吉見理事より資料 23-18 を基に出前講座の申し込み状況および実施状況の説明が行われた。最近多様な内容の出前講座の依頼が多く、対応可能な講師を探すのに苦慮していることが報告され、ホームページの掲載内容などの周知方法について、希望内容により受諾できない場合もあることや費用が発生する場合もあることについて対応できるように総務理事を中心に検討することとなった。

4) 2017 年地震工学会大会の開催時期・会場について（秋山理事）

秋山理事より資料 23-19 を基に 2017 年地震工学会大会の開催時期・会場について説明が行われた。当初予定していた早稲田大学井深ホールが天井改修工事のため使用できないことから、東京大学生産技術研究所を会場とすることが提案された。関連学会の情報を入手し会期と会場の案を決め、12 月 6 日開催予定の理事会で審議することとなった。また、2018 年度の地震工学シンポジウムの委員長は次期会長と相談し決定することとなった。

5) 「防災学術連携体 防災連携委員会」について（目黒会長）

目黒会長より防災学術連携体に関する説明があり、日本地震工学会も幹事学会として参画してい

ることが報告された。直近の予定では、防災推進国民大会において8月27日のオープニングセッションで大西日本学術会議会長の講演、8月28日PMのワークショップを開催し、日本地震工学会も連携していくことが説明された。また、12月に国民大会に参画できなかった学会を対象としたイベントが開催されることが報告された。

6) 「地質地盤情報の活用と法整備を考える会」について（秋山理事）

秋山理事より資料 23-21 に基づき、「地質地盤情報の活用と法整備を考える会」について説明があり、ホームページが立ち上がったことが報告された。

7) 役員選挙における推薦人の記載について（長島理事）

長島理事より資料 23-22 に基づき、役員選挙における推薦人の記載方法について説明があり、「会員推薦の候補者」か「役員候補推薦委員会推薦の候補者」かの区別を、候補者が所信表明に記載することの是非について問題提起があった。所信表明に制約はつけず、当事者にまかせることで了承された。

8) 会長特別委員会からの報告（目黒会長）

目黒会長より資料 23-23 に基づき、地域の災害レジリエンスに関する評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会の活動状況について報告がなされた。自治体ヒアリングの結果を受け、活動の延長も含め検討を行っていることが報告された。

9) 熊本地震への対応（吉見理事）

吉見理事より資料 23-24 に基づき、熊本地震対応に関する益城町からの要請事項について説明が行われた。益城町教育委員会への申請を行いその指示に従うように、地震工学会会員へのメールで周知することが了承された。

10) 次年度総会の日程について（吉見理事）

吉見理事より資料 23-25 に基づき、理事会の日程について説明があり、来年度の総会の日程が平成29年5月19日で決定したことが報告された。

次回理事会：10月4日（火）16時-19時もしくは12月6日（火）16時-19時

記録担当：総務理事 田中宏司

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成28年10月4日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 中 村 晋